

# 浪江町

うけどしょうがっこうものがたり

## 請戸小学校物語

おおひらやま  
大平山をこえて

浪江町の先生来たる!!

この紙芝居は、東日本大震災で被災した福島県浪江町の小学校の奇跡の物語です。  
子どもたちを守った、佐藤先生、横田先生のお話しもお聞きします。

### 昼の部 小学生以上

紙芝居 浪江町の先生のお話し  
(茶間屋ショーゴさんのお楽しみもあるよ)

1時間程度

### 夜の部 中学生以上

紙芝居と浪江町の先生のお話し  
皆さんで交流します

2時間程度

2011年3月11日、津波は美しい請戸の街をあっというまに呑み込みました。海岸から400mに位置する請戸小学校の100人あまりの子どもたちと先生は、迫りくる津波を背に、緊迫した状況の中で、互いに協力し合いながら、全員無事に避難することができました。この奇跡とも言えるできごとを、牧之原市の人達にも知ってもらいたい。この紙芝居には、子どもたちと共に学ぶべきことがたくさん詰まっています。

8月19日(水)

○13時30分～

★榛原児童館

牧之原市静波1478-2

○18時30分～

★大澤寺

牧之原市波津808-5 (地図をご覧ください)

8月20日(木)

○10時～

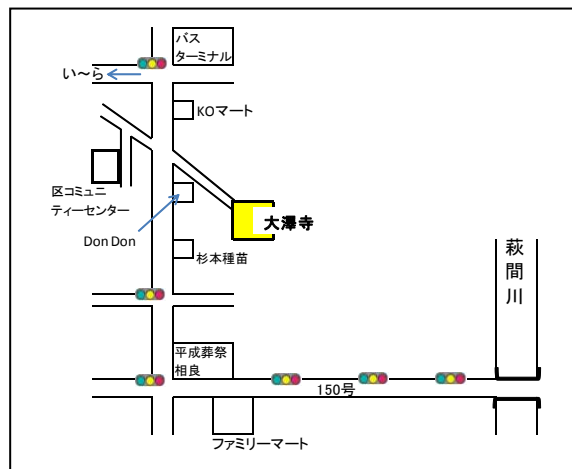
★牧之原市相良史料館

牧之原市相良275-2

○13時30分～

★細江コミュニティー

牧之原市細江1106-1



☆託児を予定していますが、会場によって事情が異なりますのでお問い合わせの上、お申し込み下さい。

協力団体：団塊のノーブレスオブリージュ(紙芝居制作)

主催：牧之原そいそわの会 \*詳しくはHPをご覧ください。

福島県では、原発事故の放射能汚染の心配される地域で暮らすことを余儀なくされている方達が、今も大勢いらっしゃいます。もしもあの震災が東海地方で起きていたならば、、、。牧之原市は他人事ではありません。そんな思いを抱え、自分達に何かできる事は無いだろうか、話し合いを重ねてきました。

私たちは、福島の方たちの思いに寄り添いながら、自分たちの地域の人とも手を携え、人と人との関係を紡いでいく活動をしていきたいとの考えに至りました。

「そいそわ」とは、「互いに寄り添いあう」ことを意味しています。

問合せ：横山 090(5104)2888 浜崎 22-0482 大石 090(4469)7740